

熊本県営八代総合運動公園 指定管理者 令和5年度（2023年度）管理運営評価票

所管部課：教育庁県立学校教育局体育保健課

I 施設の管理概要

指定管理者名		熊本県スポーツ振興事業団・ミズノグループ
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設概要	設置目的	屋外スポーツを通じて県民の体力の向上、健康の増進を図るために県南地域のスポーツ拠点として設置されたものである。
	施設区分	野球場、陸上競技場、多目的広場
指定管理料		79,200,000円（令和5年度分）（利用料金制）

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
利用者数	81,000人	79,519人	観客者数41,927人 無料施設利用者41,376人
利用料金収入	5,150,000円	6,757,560円	
スポーツ教室等開催回数	223回	196回	
スポーツ教室等参加者数	3,005人	6,154人	

【点検・調査結果及び評価】

利用者数は目標値は下回ったものの、新型コロナウイルス感染症5類移行による大会参加者数や平日利用数の回復、野球場ナイター利用の増加のほか指定管理者による新たな自主事業実施等により、施設利用料は目標値を大幅に上回っている。

また、スポーツ教室に関しても、開催回数、参加者数ともに目標値を大幅に上回っており、評価できる。

※利用者数及び利用収入は指定管理者公募時の計画に基づき目標値を設定。
スポーツ教室等開催回数及び参加者数は、前年度実績を目標値として設定。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目		実施日	内 容
清掃	（日常）	毎日	・一般的な掃き掃除等を行う場所やスポーツ施設等は、職員が毎日実施。 ・多くの利用者の動線となる建物や玄関ホール、トイレ等は再委託業者が毎日実施。
	（定期）	適宜	・大会等が行われる場合は、観覧席・公園内の特別清掃を実施。 ・窓ガラスや排水施設等は定期的に清掃を実施。
保守・点検	（日常）	毎日	・建物や設備器具・遊具等は職員が日常点検（目視、動作確認・機器周辺整備点検）を実施。 ・軽微な不具合が発生した場合は、職員が修繕を実施。
	（定期）	適宜	・各種法令に基づく法定点検及び専門性の高い点検項目は専門業者が実施。
保安・警備	（日常）	毎日	・開園時間中は、職員が定期的に巡回を実施。また、開園時間外は専門の警備会社が実施。専門の警備会社は、毎日夜間と早朝に人的警備を実施。無人となる夜間から早朝までは機械警備を実施。
	（定期）	適宜	・大会、イベント時は巡回を増やし実施。夏休み等の長期休暇期間は、防犯のため夜間巡回を増やし実施。
施設維持管理	（日常）	毎日	・建物や設備器具の軽微な不具合は、職員が速やかに自主修繕を実施。
	（定期）	適宜	・専門業者による実施が必要な場合は、専門業者へ依頼し実施。

【点検・調査結果及び評価】

協定書、事業計画に基づき適切に管理している。法定点検の他、適正に自主点検及び自主修繕を実施し、安全・安心な施設の提供に努めており、評価できる。

② 運営事業実績

〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内 容
野球塾	R5. 10～R6. 1	194人	幼児から小学3年生までを対象に元プロ野球選手からの直接指導を受けられる野球教室を実施。
KSPA・ミズノランニングクラブin八代	R5. 5～R6. 3	714人	県南地域のランニング普及や健康増進を目的としてランニング学会公認のクラブを開催。
放課後スポーツクラブ	R5. 5～R6. 3	482人	年長から小学3年生を対象とし、子どもの運動能力向上を目的とした月替わりのスポーツ体験教室を実施。
グラウンドゴルフ交流会	R5. 4～R6. 3	344人	高齢者を対象として参加者同士の交流を深める事を目的としたグラウンドゴルフ大会を実施。

【点検・調査結果及び評価】

「八代ランニングクラブ」や「放課後スポーツクラブ」など、様々な年代の方々が楽しく運動できる環境を提供したほか、周辺学校や本施設以外で活動している団体等へ積極的にチラシ配布を行うことで参加者増へ繋がっている。また、その内容についても常に利用者のニーズに沿ったものになるよう意識されている。

3 利用状況

施設名	年計	年度計	前年度計	前年度比
	開園日数	359日	359日	100.0%
野球場	利用可能日数	315日	304日	103.6%
	利用日数	242日	213日	113.6%
	利用率	76.8%	70.1%	109.6%
	利用者数	23,937人	23,422人	102.2%
陸上競技場	利用可能日数	356日	353日	100.8%
	利用日数	349日	350日	99.7%
	利用率	98.0%	99.2%	98.8%
	利用者数	30,548人	30,727人	99.4%
多目的広場	利用可能日数	305日	309日	98.7%
	利用日数	187日	212日	88.2%
	利用率	61.3%	68.6%	89.4%
	利用者数	18,880人	16,261人	116.1%

【点検・調査結果及び評価】

個人利用の増加や指定管理者による新たな自主事業の実施等により、前年度に比べ利用者数の全体的な増加が見られる。

また、夏場の営業時間を延長するなど、より利用しやすい施設の提供に努めており、評価できる。

今後も県民のニーズに寄り添った自主事業等を展開しながら、県民が安心・安全に利用できる管理運営に期待する。

4 管理経費の収支状況

① 収 入

項目	内 訳	金額（円）
指定管理委託料	管理委託料	79,200,000
利用料金収入	施設使用料	6,757,560
自主事業収入	教室収入、指導者派遣収入など	2,214,750
自動販売機収入	自動販売機収入	2,065,407
広告収入	広告収入	1,470,800
その他の収入	物品販売など	513,500
雑収入	コピー・FAX収入など	125,632
合計		92,347,649
	収入未済額	0
	うち利用料金収入分	0

② 支 出		
項目	内訳	金額
人件費	報酬、給料、各種手当、社会保険料事業主負担分	38,439,943
光熱水費	電気、ガス、水道、燃料等	6,211,882
施設管理費	保守契約等	24,344,689
修繕費	設備、機械等修繕	9,798,496
事務費	消耗品費、旅費、通信運搬費等	8,945,808
自主事業費計	自主事業関係費	1,954,133
その他	その他	297,439
合計		89,992,390
【点検・調査結果及び評価】 収支バランスを取りつつ協定に沿って業務を適正に実施しており、良好である。		

5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	令和5年10月9日～10月30日											
	調査方法	施設利用者へ面談方式でのアンケート											
	調査対象数	100人											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		とてもよい		よ い		普 通		あまりよくない		悪 い		未回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	場内の清掃状況	48	48%	43	43%	9	9%	0	0%	0	0%	0	0%
	施設の景観	41	41%	50	50%	9	9%	0	0%	0	0%	0	0%
	安全対策	27	27%	43	43%	27	27%	1	1%	0	0%	2	2%
	案内表示	37	37%	38	38%	22	22%	1	1%	0	0%	2	2%
	サービス全般	35	35%	41	41%	20	20%	0	0%	0	0%	4	4%
	接客対応	50	50%	29	29%	13	13%	0	0%	0	0%	8	8%
	駐車場の使いやすさ	28	28%	43	43%	21	21%	5	5%	1	0%	2	2%
利用者からの意見等		＜利用条件で改善してほしい点＞ 利用料金(8)、利用料金の割引条件(1)、予約受付方法(1)、 閉場日(1)、開閉場時刻(3)、駐車場(10)、その他(14)、特になし(81)											
		＜施設・設備等で改善してほしい点＞ 自動販売機・売店(11)、休憩スペース(5)、シャワー室・更衣室の状況(1)、 トイレ(13)、貸出用具等の種類や数(2)、情報提供(3)、特になし(65)											
【調査結果及び評価】 全ての項目において「あまりよくない」「悪い」の回答が10%未満であり、全体的に良好な状況である。 今後も利用者の満足度向上につながるよう、利用者の意見に寄り添った施設の管理運営を期待したい。													

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改 善 状 況
洋式トイレを増やしてほしい。和式→洋式へ	令和5年度に県工事で全ての和式トイレを洋式トイレに改修済み。
情報提供を増やしてほしい。	園内掲示板、ホームページ、SNSや学校等へのチラシ配布等で情報発信を行い、追加で園路沿いに立て看板の設置を増設するとともに、SNSへの情報発信を増やしていく。
野球場の防球ネットを安全上、高くしてほしい。	改修検討中。 注意喚起として、駐車場側に看板を新たに増設した。 大会時にはコーン看板を打球飛来箇所を設置対応中。
【調査結果及び評価】 利用者からの意見等に対し、適切に対応・改善しており評価できる。	

7 昨年度の評価で、改善を指摘した事項に対する対応

指 摘 事 項	改善内容・結果
指摘事項なし	

8 その他

令和5年5月14日にえがお健康スタジアムで発生した天井板落下による人身事故の後には、当施設でも速やかに緊急点検が行われ、その中で発見された野球場屋根の一部錆については迅速な修繕が実施されている。また、施設点検講習会の開催や四半期ごとの職員による建築物の簡易点検を追加するなど、より安全・安心な施設提供につなげようとする努力も見られ、評価できる。